

埜町学校施設長寿命化計画

令和3年3月



目 次

第1章 計画の背景・目的	1
(1) 背景	1
(2) 目的	1
(3) 計画期間	1
(4) 計画の位置付け	2
第2章 学校施設の目指すべき姿	3
第3章 学校施設の運営状況・活用状況等の実態把握	5
(1) 対象施設	5
(2) 学校施設の築年別整備状況	6
(3) 施設関連経費の推移	7
(4) 児童数・生徒数の変化と今後の推計	9
(5) 学校施設の配置状況	10
第4章 学校施設の老朽化状況の実態把握	11
(1) 劣化状況評価	11
(2) 今後の維持・更新コスト（従来型）	14
(3) 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）	16
第5章 学校施設の改修等の基本的な方針・水準等	18
(1) 総合管理計画の基本方針	18
(2) 長寿命化や維持・管理に関する基本方針	20
(3) 予防保全および点検・評価の方針	21
(4) 改修等の周期および目標使用年数の設定	21
(5) 施設整備の水準等	22
第6章 実施計画の策定	23
(1) 実施方針	23
(2) 今後の維持・更新コスト（実施計画反映型）	24
(3) 今後の改修等の予定	25
第7章 個別施設計画の継続的運用方針	26
(1) 情報基盤の整備と活用	26
(2) 推進体制等の整備	26
(3) フォローアップ	26

第1章 計画の背景・目的

(1) 背景

埴町（以下、「本町」という）は、人口増加や経済発展に伴う町民のニーズに応えるため、昭和50年代から公共施設等への集中的な投資を行ってきましたが、それから約40年余りが経過し、今後は少子高齢化の進行や社会構造・ライフスタイルの変化等に応じた公共施設の修繕や更新を考えていく時期を迎えています。

特に学校施設は、子どもたちが日常生活の多くの時間を過ごす生活の場であり、地域住民にとっては、地域活動の場であり、非常災害時には避難所としての役割も果たす重要な施設です。

そのためにも、機能的な施設環境を維持するだけでなく、快適性と安全性を持ち、防災・防犯性や衛生的な環境を備えた地域コミュニティの中心として、学校施設を維持する必要があります。

本町では、町が所有する公共施設等に関する課題を整理し、その管理や利活用に関する基本的な考え方を明らかにするため、平成29年3月（平成31年3月改訂）に「埴町公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」という）を策定しました。

本計画は、この総合管理計画を上位計画として、特に学校施設に係る個別施設計画を策定するものとなります。

(2) 目的

本計画は、総合管理計画を踏まえた個別施設計画として、公共施設のうち学校教育系施設を主な対象として、今後の学校施設の在り方と維持保全の方向性を検討し、中長期的な学校施設の具体的な維持管理方針を定めることを目的とします。

(3) 計画期間

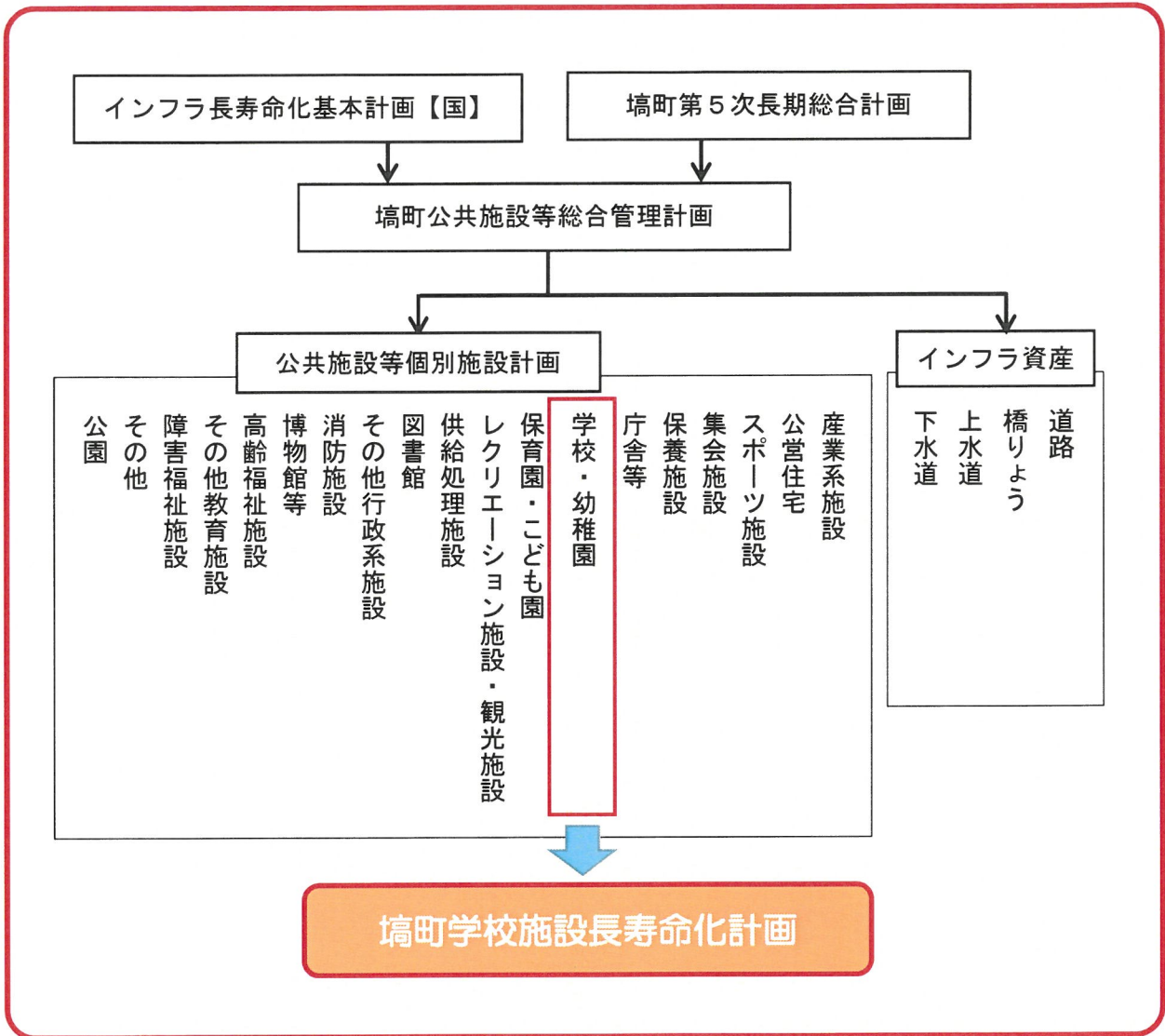
令和3（2021）年度～令和12（2030）年度（5年ごとに見直し）

本計画は、可能な限り長期的な視点で見据えながら、計画期間を令和3（2021）年度～令和12（2030）年度の10年間とします。なお、本計画の維持・更新コストの試算期間は40年とします。

ただし、計画期間内であっても上位計画の見直しや社会情勢の急激な変化などにより、必要に応じて原則5年毎に適宜見直すものとします。

(4) 計画の位置付け

本計画の位置付けを以下に示します。



第2章 学校施設の目指すべき姿

本町の教育大綱では、学校施設の目指すべき姿として以下の主要施策を掲げています。

第1 進んで学び、夢を実現できる人材の育成

1 幼・小・中学校教育の充実

(1) 「つなぐ教育」の充実

- ・学力向上対策事業
- ・学びのスタンダード推進事業
- ・ICT活用整備事業
- ・英語指導助手配置事業
- ・中学生異文化・国際交流事業
- ・学校図書館職員配置事業（中）
- ・埴工業高校との中高一貫教育（夏期講習、体験学習）

(2) 教育環境の充実

- ・学力向上研究推進員研修事業
- ・土曜授業の計画実施（小・中）
- ・奨学資金貸与事業

(3) 不登校等の子どもたちへのサポート 推進

- ・埴町いじめ防止等対策委員会開催
- ・不登校対策事業（SC、SSW 配置）
- ・適応指導教室「あすなる教室」

(4) 特別支援教育の充実

- ・就学前ケース会開催事業
- ・特別支援教育支援員配置事業

(5) 幼稚園教育の充実

- ・保育園幼稚園小学校連携支援事業
- ・預かり保育運営事業

2 生涯学習の推進

(1) 生涯学習の推進

- ・文化団体連絡協議会支援事業
- ・社会教育地域学級開催事業
- ・放課後子ども教室開設事業
- ・公民館を拠点とする講座の充実

(2) 図書館の充実

- ・読書マラソン推進事業
- ・巡回図書・出前図書事業

3 生涯スポーツの推進

(1) 生涯スポーツの振興

- ・埴町体育協会活動支援事業
- ・ふくしま駅伝、市町村対抗野球、ソフトボール支援事業
- ・総合型地域スポーツクラブ支援事業
- ・水泳教室・陸上教室等開催事業

(2) スポーツ施設の充実

- ・町営体育施設等整備事業
- ・町営体育施設等指定管理者制度事業
- ・B & G プール整備事業

第2 埴町を誇りに思い強く優しい心の育成

4 家庭と地域の教育の充実

(1) 家庭教育・地域教育の推進

- ・体験活動・ボランティア活動推進事業
- ・放課後子ども教室開設（再掲）
- ・放課後児童クラブの充実（小学校1年から6年までを対象）

(2) 青少年の健全育成

- ・青少年の意見発表事業
- ・成人式開催事業
- ・青少年育成町民会議事業

第3 ふるさとに親しみ、心をうるおす文化の振興と伝承

5 文化・芸術の振興と継承

(1) 文化財の整備、保存、活用

- ・文化財発掘事業
- ・文化財めぐり事業
- ・文化財保護事業

(2) 文化活動の促進

- ・文化祭開催事業
- ・文化講演会事業
- ・あぶくま高原美術館運営事業

出典：埴町教育大綱

第3章 学校施設の運営状況・活用状況等の実態把握

(1) 対象施設

本計画の対象施設は、5施設14棟(延床面積14,769㎡)です。

幼稚園施設一覧

幼稚園名	建物名	延床面積(m ²)	建築年度	築年数	構造 ^{※1}	園児数(人)	学級数	大規模改造年度
笹原幼稚園	管理保育室棟	292	1976	44	S	19	2	平成26年
	保育室	114	1986	34	S			平成26年
幼稚園 計		406				19	2	

出典：埴町公立学校施設台帳 令和元年度時点（登録順、小規模な施設を省きます。）

小学校施設一覧

小学校名	建物名	延床面積(m ²)	建築年度	築年数	構造 ^{※1}	児童数(人)	学級数	大規模改造年度
笹原小学校	屋内運動場	602	1975	45	S	85	8	平成22年
	管理教室棟	2,458	1988	32	S			
埴小学校	普通教室棟	900	1968	52	RC	298	13	平成24年
	管理教室棟	2,295	1969	51	RC			平成24年
	屋内運動場	754	1970	50	S			平成21年
小学校 計		7,009				383	21	

出典：埴町公立学校施設台帳 令和元年度時点（登録順、小規模な施設を省きます。）

中学校施設一覧

中学校名	建物名	延床面積(m ²)	建築年度	築年数	構造 ^{※1}	生徒数(人)	学級数	大規模改造年度
埴中学校	屋内運動場	1,195	1968	52	S	206	7	平成21年
	屋内運動場	122	1985	35	S			
	管理教室棟	4,443	2010	10	RC			
	渡り廊下	166	2011	9	RC			
	武道場	559	2016	4	S			
中学校 計		6,485				206	7	

出典：埴町公立学校施設台帳 令和元年度時点（登録順、小規模な施設を省きます。）

学校給食センター施設一覧

施設名	建物名	延床面積(m ²)	建築年度	築年数	構造 ^{※1}	大規模改造年度
埴町学校給食センター	共同調理場	816	2015	5	S	
	渡り廊下	53	2015	5	S	
施設 計		869				

出典：埴町公立学校施設台帳 令和元年度時点（登録順、小規模な施設を省きます。）

※1 構造のRCは鉄筋コンクリート造、Sは鉄骨造を指します。

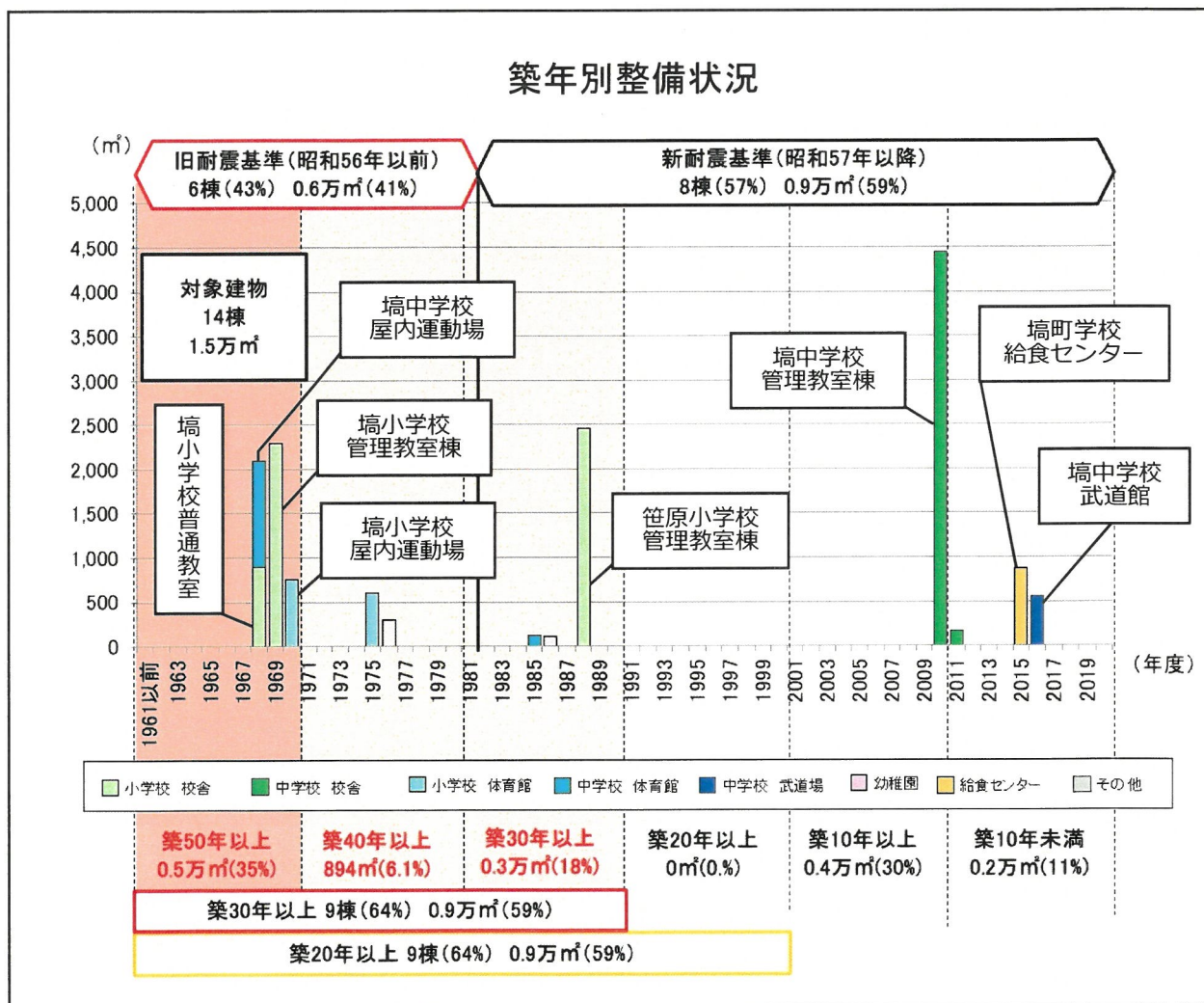
(2) 学校施設の築年別整備状況

本町の学校施設の築年別整備状況は、次のとおりです。

このうち、建築経過年が30年以上を経過している学校施設は9棟（全対象施設の64%）、延床面積0.9万㎡（全対象施設の59%）となっています。

最も古い建物は、埴小学校の普通教室棟と埴中学校の屋内運動場で昭和43（1968）年度の建設で、52年が経過しています。

また、施設の建設面積が最も大きかったのは平成22（2010）年度で、埴中学校で管理教室棟が建設されています。



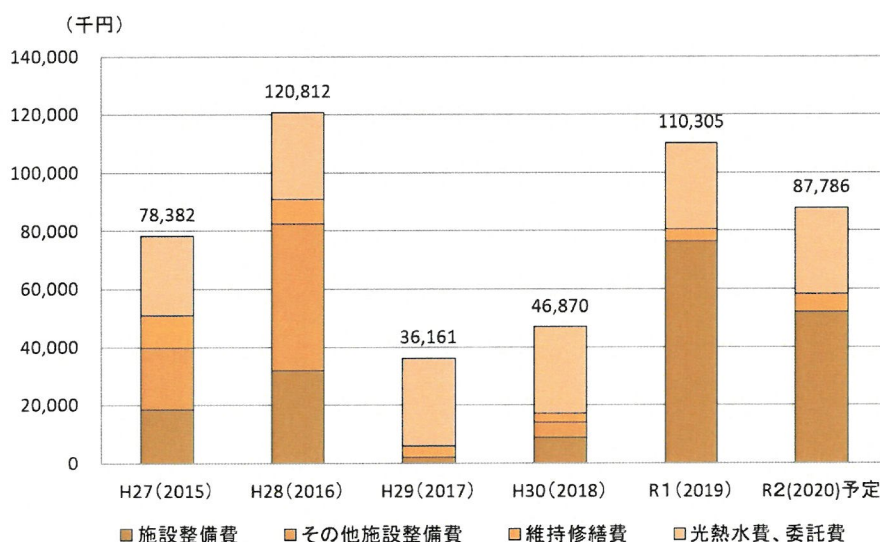
(3) 施設関連経費の推移

本町の学校施設に係るコスト状況についてみると、平成 27 (2015) 年度以降の施設関連経費は、次のとおりです。この6カ年に係るコストは、年平均約 0.8 億円となっています。

■ 合計 (幼稚園・小学校・中学校・給食センター)

単位：千円

	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R 1 (2019)	R 2 (2020) 予定	年平均
施設整備費	18,612	31,890	1,901	8,828	76,339	52,165	31,622
その他施設整備費	21,000	50,652	0	5,206	0	0	12,810
維持修繕費	11,350	8,400	3,893	2,983	4,129	6,151	6,151
光熱水費・委託費	27,421	29,869	30,367	29,854	29,838	29,470	29,470
合計	78,382	120,812	36,161	46,870	110,305	87,786	80,053



単位：千円

■ 幼稚園費	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R 1 (2019)	R 2 (2020) 予定	年平均
施設整備費	0	0	0	0	2,310	0	385
その他施設整備費	0	8,208	0	0	0	0	1,368
維持修繕費	3,114	1,245	748	674	895	1,335	1,335
光熱水費・委託費	2,520	2,655	2,654	2,501	2,610	2,588	2,588
合計	5,634	12,108	3,402	3,176	5,814	3,923	5,676

単位：千円

■ 小学校費	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R 1 (2019)	R 2 (2020) 予定	年平均
施設整備費	5,465	31,890	0	8,828	0	52,165	16,391
その他施設整備費	2,013	26,244	0	0	0	0	4,710
維持修繕費	6,578	5,547	2,270	2,125	2,590	3,822	3,822
光熱水費・委託費	13,743	12,851	14,147	11,415	10,677	12,567	12,567
合計	27,799	76,532	16,417	22,368	13,267	68,553	37,489

単位：千円

■中学校費	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R 1 (2019)	R 2 (2020) 予定	年平均
施設整備費	0	0	1,901	0	74,029	0	12,655
その他施設整備費	18,986	16,200	0	5,206	0	0	6,732
維持修繕費	1,657	1,609	876	183	644	994	994
光熱水費・委託費	5,657	7,482	6,587	8,508	9,850	7,617	7,617
合計	26,301	25,291	9,363	13,897	84,523	8,611	27,998

単位：千円

■給食センター費	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R 1 (2019)	R 2 (2020) 予定	年平均
施設整備費	13,147	0	0	0	0	0	2,191
その他施設整備費	0	0	0	0	0	0	0
維持修繕費	0	0	0	0	0	0	0
光熱水費・委託費	5,502	6,880	6,978	7,430	6,701	6,698	6,698
合計	18,649	6,880	6,978	7,430	6,701	6,698	8,889

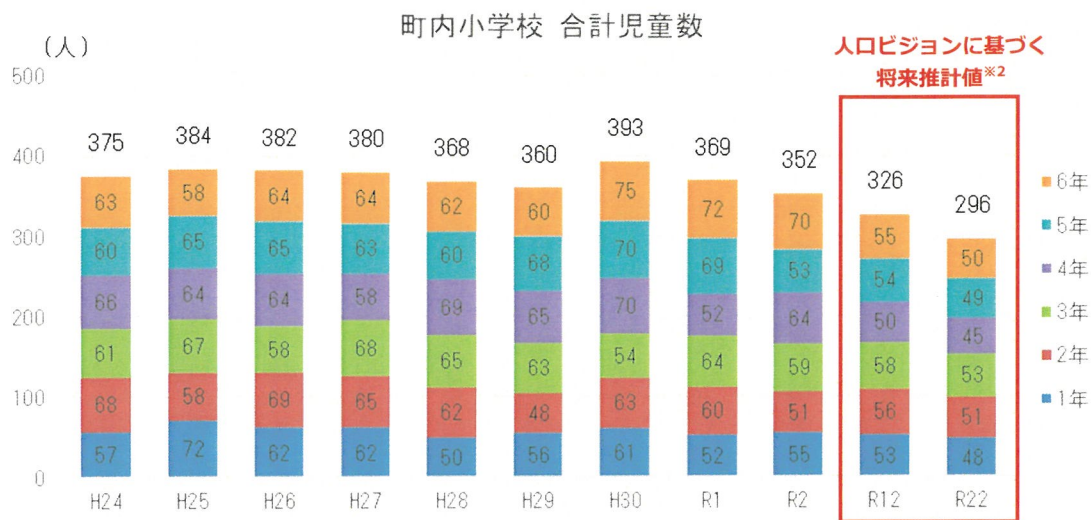
※千円以下を四捨五入しているため、合計値が合わない場合があります。

(4) 児童数・生徒数の変化と今後の推計

ア. 児童数

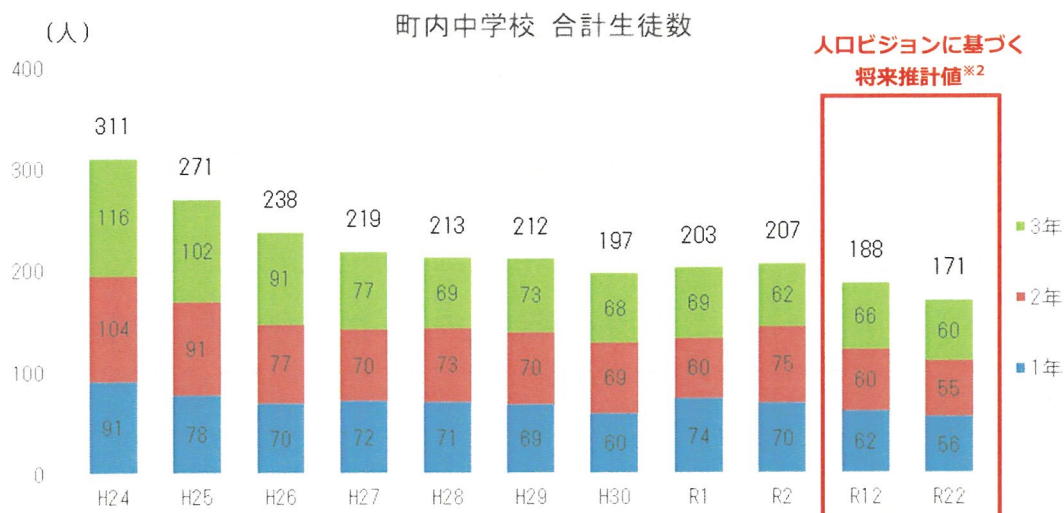
本町における令和元（2019）年度の児童数は、369 人です。過去 7 年でみると、平成 29 年までほぼ横ばいで、平成 30（2018）年度には一度増加しますがその後は減少に転じています。

人口ビジョン^{※1}に基づく将来推計値から令和 22（2040）年度の児童数は 296 人と推計されます。



イ. 生徒数

本町における令和元（2019）年度の生徒数は 203 人です。過去 7 年間でみると平成 24（2012）年から平成 27（2015）年まで減少傾向が続き、その後はほぼ横ばいで推移してきましたが、将来は再び減少見込みで、人口ビジョンに基づく将来推計値から令和 22（2040）年度の生徒数は 171 人と推計されます。



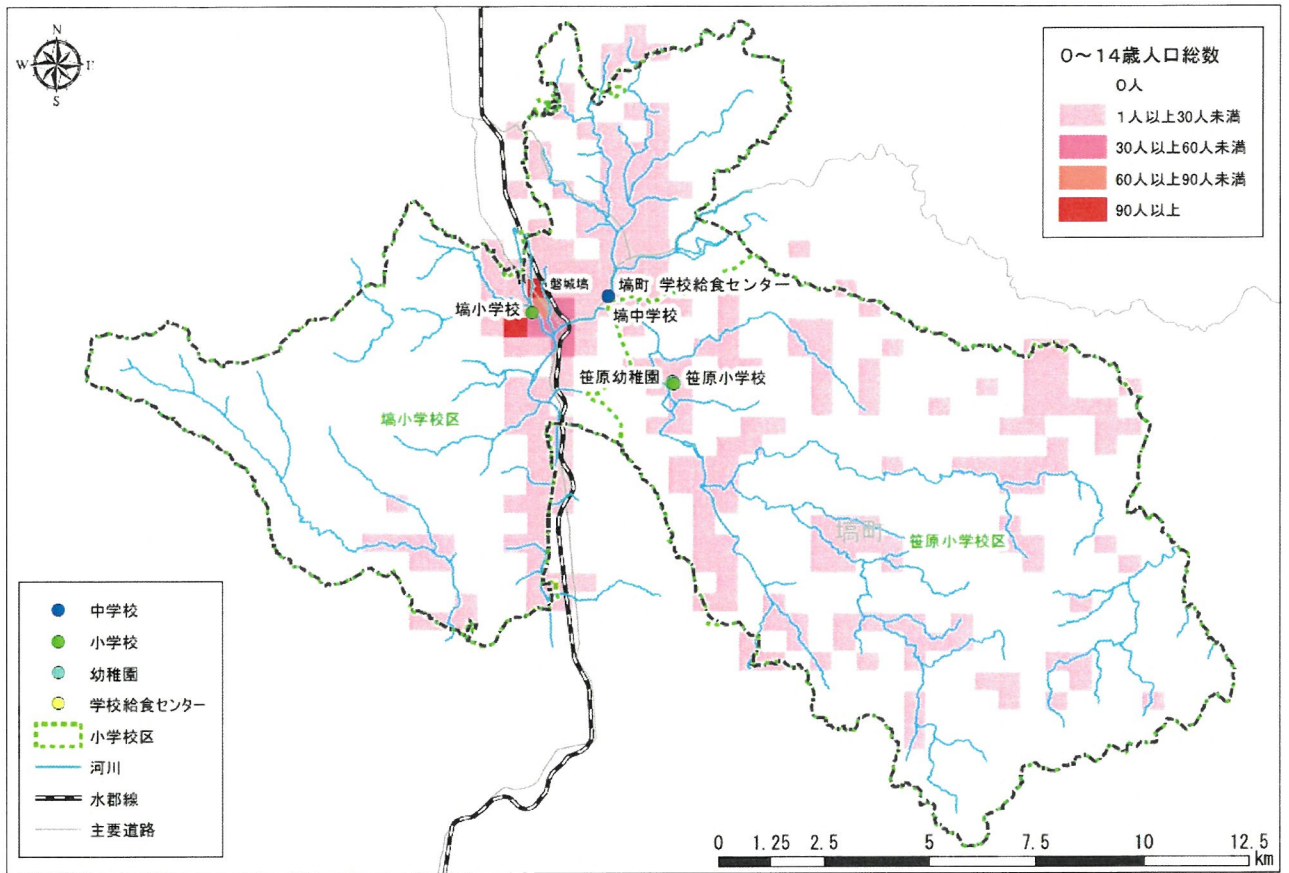
※1 埴町まち・ひと・しごと埴町人口ビジョン及び地方版総合戦略（令和元年 9 月改訂 埴町）

※2 児童数・生徒数の将来推計方法（変化率による推計） R2(2020)年から R22(2040)年の児童生徒数は、人口ビジョンの将来人口から、H27(2015)年を 100 として総人口の変化率を求め、将来の各学年の児童数生徒数を推計しています。

※3 特別支援学級を省いています。

(5) 学校施設の配置状況

本町の小学校及び中学校の配置は次のとおりです。



国土地理院数値情報より作成

第4章 学校施設の老朽化状況の実態把握

(1) 劣化状況評価

劣化状況評価は、本計画の対象施設に対し、「構造躯体の健全性」と「構造躯体以外の健全性」の2つに分けて把握・評価します。

ア. 劣化状況評価の流れ

本計画の対象施設について、現地調査に着手する前に各施設の既存資料の収集や施設の基本的な情報と状況を整理・把握したうえで、劣化状況調査を実施しました。

次に劣化状況調査の作業フローを示します。

- I 事前調査（学校施設基本情報を把握するための既存資料調査）
 - ・ 学校施設台帳を基に対象施設の用途、規模（階数・面積）、構造や建築年度の調査
 - ・ 耐震診断実施状況及び設計書などからの必要情報の調査
 - ・ 設計及び工事図面などから平面・仕様・設置設備内容等の把握をするとともに、調査図面の作成
 - ・ 保守点検状況の確認
 - ・ 過去の修繕履歴の確認
- II 事前調査（劣化状況評価票に関するデータの入力）
 - ・ 収集した資料を基に、計画及び調査に必要となるデータの整理を行う
- III 事前調査（現地調査の事前準備）
 - ・ 劣化状況の現地確認のため学校施設配置・平面図・立面図、点検機材の準備
 - ・ 各学校の施設管理者との工程の調整



- IV 劣化状況評価の実施方法
 - ・ 建築技術者による現地調査の実施および既存点検結果から評価実施
 - ・ 劣化調査報告【劣化状況調査票】【調査結果表】【関係写真】
- V 劣化状況評価の評価基準（A～D の4段階評価）
 - ・ 屋根・屋上、外壁、内部仕上げ（現地にて目視による確認を行い評価）
 - ・ 電気設備、機械設備（部位の全面的な改修年から経過年数を基本に評価）

評価基準

目視による評価【屋根・屋上、外壁】

評価	基準
良好 A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
劣化 D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し、施設運営に支障を与えている）等

経過年数による評価

【内部仕上げ、電気設備、機械設備】

評価	基準
良好 A	20年未満
B	20年～40年未満
C	40年以上
劣化 D	経過年数に関わらず 著しい劣化事象がある場合

VI 建物健全度の算出

- ・ 各建物の部位について劣化状況を4段階で評価した結果、100点満点で数値化

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60 = \text{健全度}$$

イ. 構造躯体の健全性

構造躯体の健全性は、建物の建築年度から耐震安全性を把握し、構造躯体の健全性について判定します。

新耐震基準^{※1}は「長寿命」と判定します。旧耐震基準^{※1}のうち、RC造は耐震診断結果から耐震性（圧縮強度 13.5N/mm²以上）の確認を行い、「長寿命」と判定します。耐震性がない場合、「改築」または「廃止」と判定します。旧耐震基準のうち、S造は概ね築年数が40年以上で劣化調査から構造躯体に著しい劣化がないため、「長寿命」と判定します。

本計画の対象施設は「長寿命化」と判定します。

建物基本情報							構造躯体の健全性					
施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	築年数	耐震安全性			長寿命化判定		
							基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm ²)	試算上の区分
笹原幼稚園	管理保育室棟	001	S	1	292	44	旧	済	済	-	-	長寿命
笹原幼稚園	保育室	003	S	1	114	34	新	-	-	-	-	長寿命
笹原小学校	屋内運動場	007	S	2	602	45	旧	済	済	H15	-	長寿命
笹原小学校	管理教室棟	013	S	3	2458	32	新	-	-	-	-	長寿命
塙小学校	普通教室棟	002-1	RC	3	900	52	旧	済	済	-	19.07	長寿命
塙小学校	管理教室棟	002-2	RC	3	2295	51	旧	済	済	-	19.07	長寿命
塙小学校	屋内運動場	004	S	2	754	50	旧	済	済	-	-	長寿命
塙中学校	屋内運動場	003	S	2	1195	52	旧	済	済	-	-	長寿命
塙中学校	屋内運動場 ステージ増築	007	S	1	122	35	新	-	-	-	-	長寿命
塙中学校	管理教室棟	013	RC	2	4443	10	新	-	-	-	-	長寿命
塙中学校	渡り廊下	014	RC	2	166	9	新	-	-	-	-	長寿命
塙中学校	武道場	015	S	1	559	4	新	-	-	-	-	長寿命
塙町学校 給食センター	共同調理場	002	S	2	816	5	新	-	-	-	-	長寿命
塙町学校 給食センター	渡り廊下	003	S	1	53	5	新	-	-	-	-	長寿命

※1 耐震基準

昭和56年6月に建築基準法が改正されています。ここでは耐震基準を昭和56年度以前の建物を「旧耐震」、昭和57年度以降の建物を「新耐震」に分類します。

ウ. 構造躯体以外の健全性

構造躯体以外の健全性は、建築基準法 12 条点検結果を参考に、老朽化状況を評価します。なお、既存の点検結果がない場合は劣化状況調査を実施し、劣化状況調査票をまとめ、建物ごとの健全性の算出を行います。この健全性を用い、改修等の優先順位検討へ活用します。

- A 概ね良好
- B 局所、部分的に劣化が見られ、安全上、機能上、問題なし
- C 随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる
- D 劣化の程度が大きく、安全上、機能上に問題があり、早急に対応する必要がある

築50年以上 築30年以上

建物基本情報							構造躯体以外の健全性					
施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
笹原幼稚園	管理保育室棟	001	S	1	292	44	D	C	B	C	C	51
笹原幼稚園	保育室	003	S	1	114	34	B	B	B	B	B	75
笹原小学校	屋内運動場	007	S	2	602	45	A	B	C	C	C	55
笹原小学校	管理教室棟	013	S	3	2458	32	A	B	B	B	B	77
塙小学校	普通教室棟	002-1	RC	3	900	52	B	B	C	C	C	53
塙小学校	管理教室棟	002-2	RC	3	2295	51	B	B	C	C	C	53
塙小学校	屋内運動場	004	S	2	754	50	B	B	C	C	C	53
塙中学校	屋内運動場	003	S	2	1195	52	B	B	B	C	C	66
塙中学校	屋内運動場 ステージ増築	007	S	1	122	35	B	B	B	B	B	75
塙中学校	管理教室棟	013	RC	2	4443	10	A	A	A	A	A	100
塙中学校	渡り廊下	014	RC	2	166	9	A	A	A	A	A	100
塙中学校	武道場	015	S	1	559	4	A	A	A	A	A	100
塙町学校 給食センター	共同調理場	002	S	2	816	5	A	A	A	A	A	100
塙町学校 給食センター	渡り廊下	003	S	1	53	5	A	A	A	A	A	100

(2) 今後の維持・更新コスト（従来型）

ア. 今後の維持・更新コスト算出（従来型）の考え方

今後の維持・更新コスト（従来型）の算出の考え方は次のとおりです。

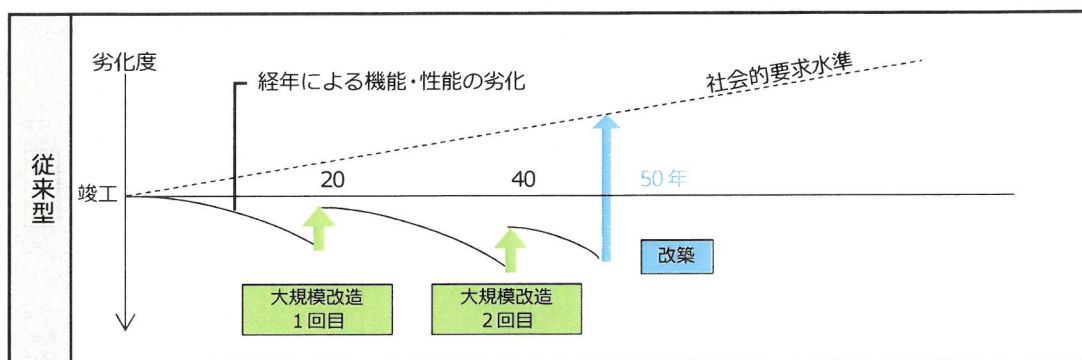


図 今後の維持・更新コスト（従来型）の考え方

大規模改造と長寿命化改修の対象と単価は、次の表のとおりです。

表 大規模改造の対象とその単価

部位区分	設備区分	大規模改造	主な工事内容
		対象	
建築	構造躯体（RC造）	—	中性化対策
	屋根	★	葺替、シート張替
	外部（外壁）	★	塗装または張替
	建具	—	交換
	内部仕上げ（床）	★	張替
	内部仕上げ（壁）	★	張替
	内部仕上げ（天井）	★	張替
電気	受変電（電気配線）	—	機器交換
	発電・静止形電源	—	機器交換
	電力	—	一式交換
	中央監視	—	機器交換
	通信・情報	—	機器交換
機械	空調	★	機器交換
	換気	—	一式交換
	自動制御	—	一式交換
	給排水衛生（給排水管）	—	一式交換
	消火	★	一式交換
	昇降機その他	—	機器交換
その他	社会的要請	★	バリアフリー対応等

※ ★…対象とする —…対象としない

表 整備にかかる単価表

区分	大規模改造 (1か年で実施)	改築
校舎	82,500 円/m ²	330,000 円/m ²
屋内運動場	72,600 円/m ²	

※大規模改造単価および長寿命化改修単価は「学校施設長寿命化計画策定に係る解説書(平成 29 年 3 月/文部科学省)」に準じます。

イ. 今後の維持・更新コスト（従来型）

今後の維持・更新コスト（従来型）は、約 74.9 億円（1 年あたり約 1.9 億円）のコストが必要になると試算され、過去の施設関連経費の約 4.8 億円（1 年あたり約 0.8 億円）の 2.4 倍に相当します。

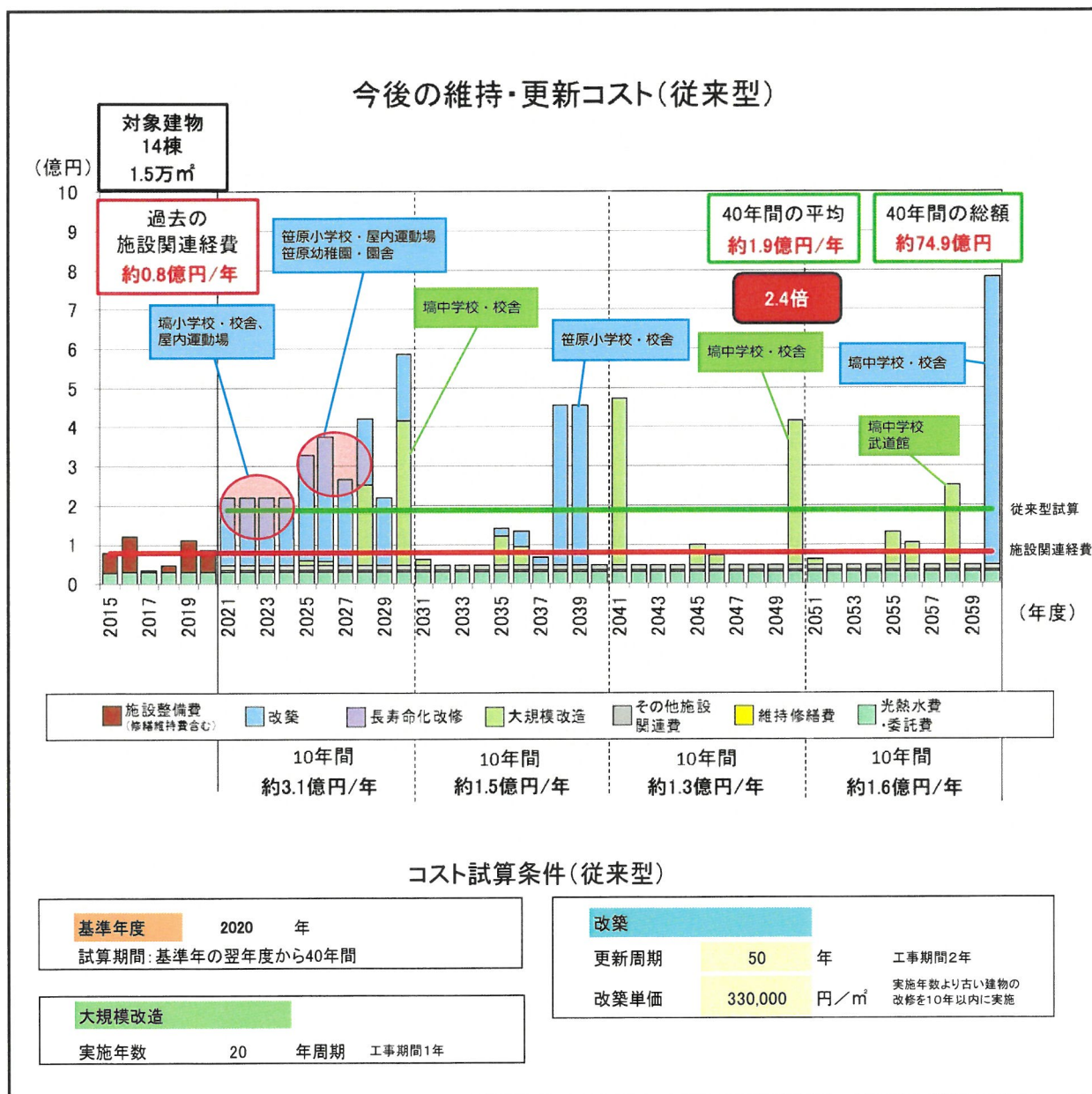


図 今後の維持・更新コスト（従来型）

(3) 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

ア. 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）の考え方

今後の維持・更新コスト（長寿命化型）の算出の考え方は、次のとおりです。

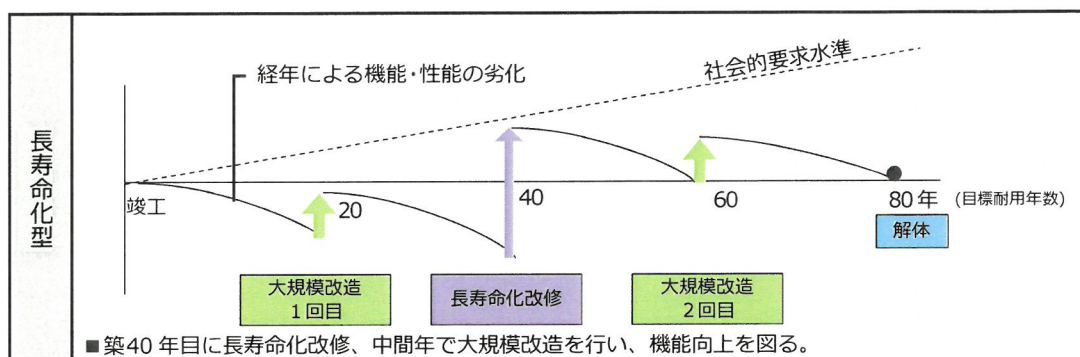


図 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）の考え方

大規模改造と長寿命化改修の対象と単価は、次の表のとおりです。

表 大規模改造と長寿命化改修の対象とその単価

部位区分	設備区分	大規模改造	長寿命化改修	主な工事内容
		対象	対象	
建築	構造躯体（RC造）	—	★	中性化対策
	屋根	★	★	葺替、シート張替
	外部（外壁）	★	★	塗装または張替
	建具	—	★	交換
	内部仕上げ（床）	★	★	張替
	内部仕上げ（壁）	★	★	張替
	内部仕上げ（天井）	★	★	張替
電気	受変電（電気配線）	—	★	機器交換
	発電・静止形電源	—	★	機器交換
	電力	—	★	一式交換
	中央監視	—	★	機器交換
	通信・情報	—	★	機器交換
機械	空調	★	★	機器交換
	換気	—	★	一式交換
	自動制御	—	★	一式交換
	給排水衛生（給排水管）	—	★	一式交換
	消火	★	★	一式交換
	昇降機その他	—	★	機器交換
その他	社会的要請	★	★	バリアフリー対応等

※ ★…対象とする —…対象としない

表 整備にかかる単価表

区分	大規模改造 (1か年で実施)	長寿命化改修 (2か年で実施)	改築
校舎	82,500 円/m ²	198,000 円/m ²	330,000 円/m ²
屋内運動場	72,600 円/m ²		

※大規模改造単価および長寿命化改修単価は「学校施設長寿命化計画策定に係る解説書(平成 29 年 3 月/文部科学省)」に準じます。

イ. 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

今後の維持・更新コスト（長寿命化型）は、約 76.0 億円（1年あたり 1.9 億円）のコストが必要になると試算され、過去の施設関連経費約 4.8 億円（1年あたり約 0.8 億円）の 2.4 倍に相当します。

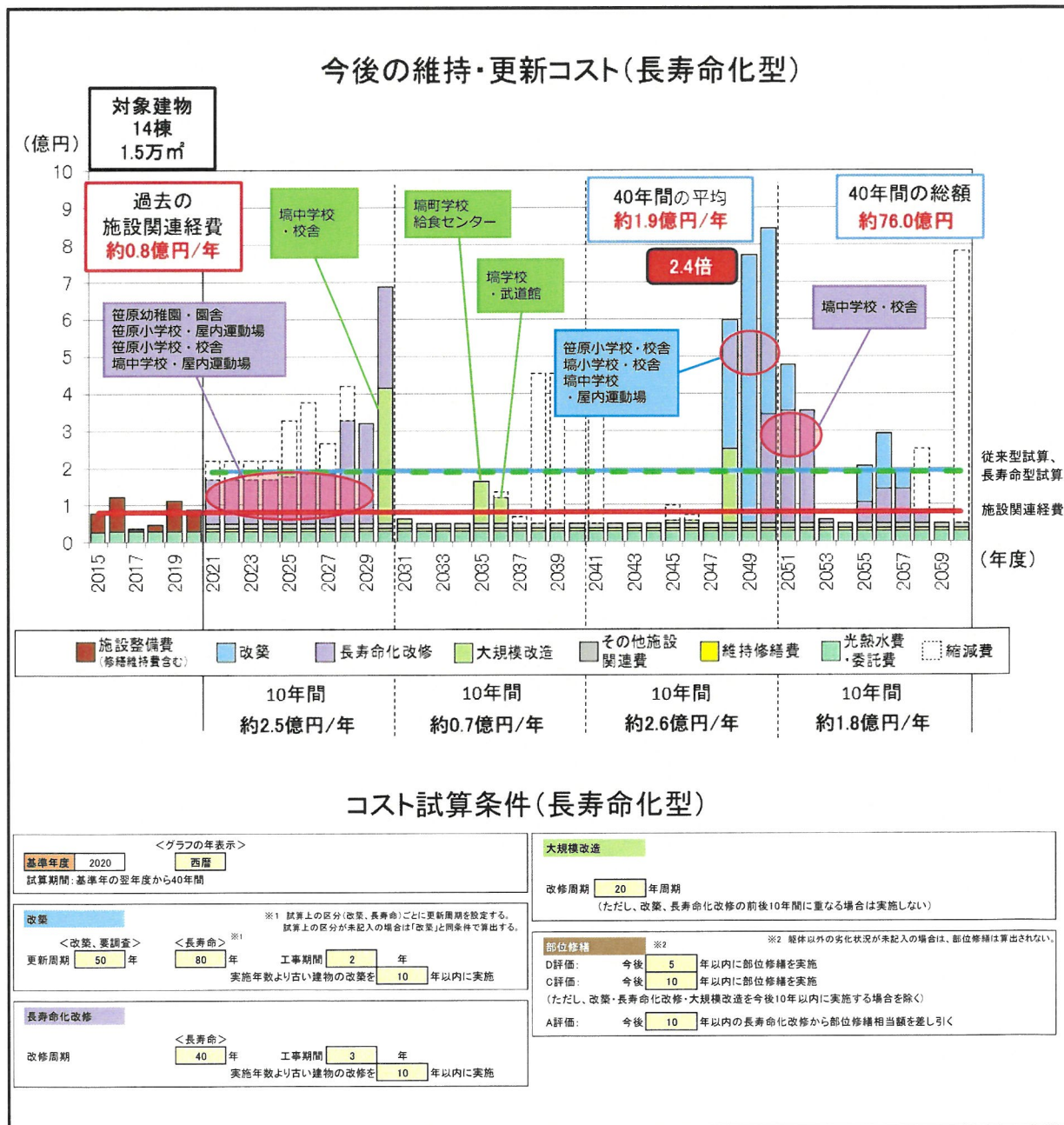


図 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

第5章 学校施設の改修等の基本的な方針・水準等

(1) 総合管理計画の基本方針

ア. 全体方針

総合管理計画では、公共施設等の管理に関する基本方針として以下を掲げています。

全体方針

**公共施設等の量・質・コストの見直しを図り、
町民ニーズに対応した施設サービスを持続的に提供する**

全体方針の5つの柱

①施設の長寿命化

予防保全 計画的修繕 定期的点検診断

②施設の複合化と機能集約

サービスの適正化 施設の複合化・多機能化 広域対応 統廃合

③効率的な運営手法

維持管理の効率化 利用促進 使用料の適正化

④新たな事業手法の活用

公民連携の推進（PPP・PFI）等

⑤取組体制の構築

施設の一元管理 取組の推進体制の構築 個別計画の策定 職員の意識改革

出典：埴町公共施設等総合管理計画（平成31年3月改訂 埴町）

イ. 学校教育系施設の基本方針

学校教育系施設の基本方針として以下を掲げています。

学校教育系施設の基本方針

小中学校

- ・多額の更新費用が予想されるため、更新時期の分散化を図る。しかし、全ての学校施設の更新を行うことは、財政的にも困難であることから、保護者や地域等の意向を十分に踏まえながら、適正規模・適正配置について検討する。
- ・少子高齢化が加速する中においては、児童数・生徒数の減少に合わせた統合の可能性を検討して行く。

幼稚園・保育園

- ・施設の利用状況や老朽化状況、需要の変化を見据えながら、規模や配置を見直すとともに、施設の維持管理について計画的かつ効果的に行っていく。
- ・国の動向や地域の実情を踏まえ、認定こども園（教育・保育を一体的に行う施設）の普及等、園児数の減少に合わせた統合の可能性を検討して行く。

出典：埴町公共施設等総合管理計画（平成31年3月改訂 埴町）

(2) 長寿命化や維持・管理に関する基本方針

総合管理計画における公共施設等に関する基本方針を踏まえ、学校施設の長寿命化や維持・管理に関する基本方針を次のように定めます。

1. 計画的保全による長寿命化の推進

- ・適切な維持管理のもと、計画的な建物の長寿命化に切り替えます。
- ・防犯性やバリアフリー化の対応のほか、社会的要請にこたえつつ、利用者の安全性や快適性など質的に保たれた施設環境の整備を推進します。

2. 施設保有量の最適化

- ・本計画の期間中では、当面の間、施設保有量の維持に努めるものとし、そのうえで今後の児童数・生徒数の増減や分布に注視し、必要に応じ、小中学校の適正規模・適正配置について検討します。

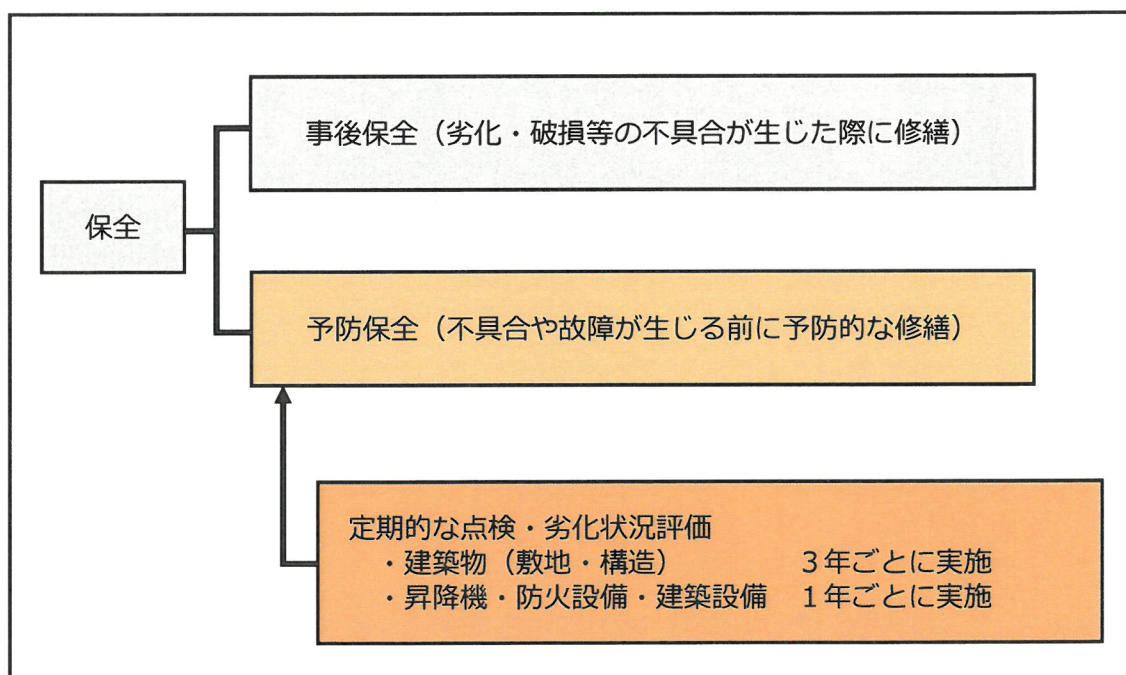
3. 地域活動に対応した施設の活用

- ・学校、家庭、地域住民の連携による学校づくりを実践するため、生涯にわたる学習、文化、スポーツ、地域学校共同活動、防災拠点化など、住民に身近な施設の活用を推進します。

(3) 予防保全および点検・評価の方針

施設を長期的に使用するためには、劣化・破損等の不具合が生じた際に修繕等を行う「事後保全」だけでなく、不具合や故障が生じる前に予防的な修繕等を実施し、機能の保持を図る「予防保全」が重要です。「予防保全」は、施設機能が突発的に停止するリスクを低減させるほか、改修に係る費用を計画的に実施することで、中長期的なトータルコストを下げることに繋がります。

また、「予防保全」を効率的・効果的に実施するため、躯体以外の劣化状況の点検・評価を実施します。点検については、有資格者等による専門的な点検を定期的実施するものとします。評価については、点検の結果を劣化状況調査票に反映するものとし、「予防保全」に役立てるものとします。



(4) 改修等の周期および目標使用年数の設定

鉄筋コンクリート造および鉄骨造の物理的耐用年数は、適切な維持管理がなされることを前提に、普通品質では50～80年、高品質の場合は80～120年とされています。^{※1}

本町の対象施設における改修等の周期および目標使用年数を次のように設定します。

表 改修等の周期および目標使用年数

用途	大規模改造周期	長寿命化改修周期	目標使用年数
校舎および体育館	築 20 年 築 60 年	築 40 年	80 年

※1 出典 「建築物の耐久計画に関する考え方」(社団法人日本建築学会) 機構

(5) 施設整備の水準等

本町の対象施設における施設整備の水準は、老朽化状況評価を参考に、今ある施設を長期間使うことを推進し、各部位を竣工時に回復するとともに、費用対効果を考慮した最適な仕様を選択し設定します。また、社会的な要請に合わせた機能の高まりへ対応した維持・更新に努めます。

部位区分	設備区分	大規模改造	長寿命化改修	主な工事内容
		対象 (築20年)	対象 (築40年)	
建築	構造躯体 (RC造)	—	★	中性化対策
	屋根	★	★	葺替、シート張替
	外部 (外壁)	★	★	塗装または張替
	建具	—	★	交換
	内部仕上げ (床)	★	★	張替
	内部仕上げ (壁)	★	★	張替
	内部仕上げ (天井)	★	★	張替
電気	受変電 (電気配線)	—	★	機器交換
	発電・静止形電源	—	★	機器交換
	電力	—	★	一式交換
	中央監視	—	★	機器交換
	通信・情報	—	★	機器交換
機械	空調	★	★	機器交換
	換気	—	★	一式交換
	自動制御	—	★	一式交換
	給排水衛生 (給排水管)	—	★	一式交換
	消火	★	★	一式交換
	昇降機その他	—	★	機器交換
その他	社会的要請	★	★	バリアフリー対応等

※ ★…対象とする —…対象としない

第6章 実施計画の策定

(1) 実施方針

施設ごとの今後の実施方針は次のとおりです。

施設名称	建物名	実施方針
笹原幼稚園	管理保育室棟 保育室	(管理保育室棟) ・当面の間、劣化状況の進んだ 屋根・屋上の部位修繕を実施 し、維持・管理に努めます。 (保育室) ・「予防保全」の方針に則り、大規模改造や長寿命化改修の時期を検討したうえで実施します。
笹原小学校	管理教室棟 屋内運動場	・「予防保全」の方針に則り、大規模改造や長寿命化改修の時期を検討したうえで実施します。
埴小学校	普通教室棟 管理教室棟 屋内運動場	・「予防保全」の方針に則り、大規模改造や長寿命化改修の時期を検討したうえで実施します。
埴中学校	管理教室棟 屋内運動場 (ステージ増築含む) 武道場 渡り廊下	・「予防保全」の方針に則り、大規模改造や長寿命化改修の時期を検討したうえで実施します。
埴町学校 給食センター	共同調理場 渡り廊下	・「予防保全」の方針に則り、大規模改造や長寿命化改修の時期を検討したうえで実施します。

(2) 今後の維持・更新コスト（実施計画反映型）

今後の維持・更新コスト（長寿命化型）を用いても、コストが抑制されないため、施設保有量の縮減を検討する必要があります。

今後の少子高齢化の影響を鑑み、人口ビジョン将来推計値を基に、小学校の改築面積を74%程度に抑えた場合、今後の維持・更新コストは、約55.0億円（1年あたり1.4億円）のコストが必要になると試算され、過去の施設関連経費約4.8億円（1年あたり約0.8億円）の1.7倍に抑制されます。ただし学校施設の改築の規模やその実施時期等については、推進体制の整備や地元住民との合意形成のうえ、検討する必要があります。

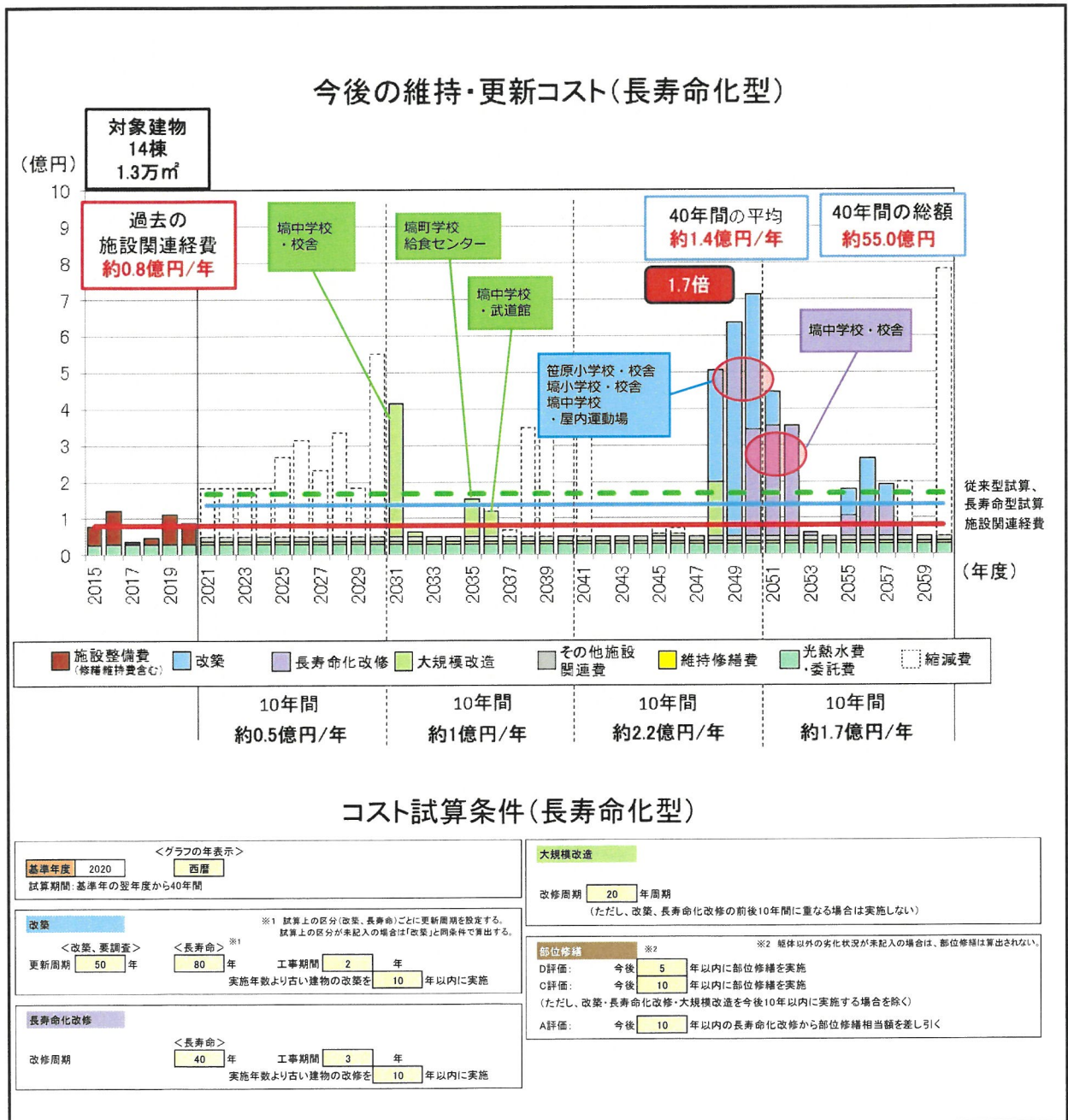


図 今後の維持・更新コスト（実施計画反映型）

(3) 今後の改修等の予定

劣化状況評価の結果から、今後の改修等の予定は次のとおりです。

<今後の改修等の予定>

対象	笹原幼稚園 屋根・屋上（陸屋根部分）
概算工事費（税抜）	¥2,500,000

《前提条件》

・ 加`-工法想定（下地や躯体はそのまま使用）

改質アスファルトシート防水以外の工法（シート防水、塗膜防水）

・ 設計費、施工監理費、足場費用、消費税は含んでいません。

第7章 個別施設計画の継続的運用方針

(1) 情報基盤の整備と活用

総合管理計画と連携し、公有財産台帳に基づく施設情報や、定期的な施設の点検・評価を踏まえ、学校施設を継続的かつ効率的に更新する仕組みを検討します。特に、本計画のPDCAサイクルを着実に実行していくために、継続的な実態把握によるデータベースの蓄積と一元的な管理を行い、継続的な学校施設マネジメントを実行します。

(2) 推進体制等の整備

本計画を継続的に運用していくために、教育委員会を中心に庁内関係部署間で横断的に連携を図り、本計画を町全体の取り組みとして推進するため、推進体制の構築を図ります。

また、本計画を効率的に実施するためには、予算編成部署との連携が必要不可欠であることから、本計画により必要となる費用について、町全体の予算を踏まえ確保に努めます。

(3) フォローアップ

本計画について、計画期間の範囲内であっても、定期的に計画の達成状況等について正確に把握し、フォローアップ（5年ごと）を実施します。

また、突発的な社会的要請に伴い、機能を向上させるための費用が増えることも考慮する必要があります。児童数や生徒数の増減や分布に注視し、場合により、段階的な学校施設の保有量の縮減も視野にいれ、検討する必要があります。

